

首都圏における公園内にある保育園の最新事例の施設調査報告

Facility survey report on the latest case of nursery school in the park in metropolitan area

○武田賀央¹

*Takeda Yoshio¹

Abstract : This report is a facility survey report of the latest cases of a nursery school located in metropolitan area, which were able to be installed in a city park using the National Strategy Special Zone System.

1. 研究背景と目的

近年わが国では女性の社会進出、都市部の人口集中、保育士不足等により、待機児童問題が顕在化している。また、待機児童数が最も多い都内では保育所を新たに新設しようとしても用地不足の問題や周辺住民からの理解が得られず、スムーズに保育所を新設できない現状であった。そこで2015年7月、国家戦略特区で実施する新たな規制緩和策を盛り込んだ改正国家戦略特区法が8日の参院本会議で可決、成立し、特区で、公園内に保育園を設置することが可能になり、今年の4月に世田谷区、荒川区、品川区の公園内に保育所が開園した。また2017年2月に都市公園法の改正で、特区に限らず全国的に公園での保育所設置が可能にもなった。もともと、公園内には「公園施設」と呼ばれる飲食店や売店しか設置することがでなかったが、この改正法により新たな保育園の開設地として公園が採用されることになった。その改正案を皮切りに公園内に新設された保育所が2017年4月から全国で6園開園し、同年10月からは3園、2018年度以降には7園が開設予定であり、今後公園内保育園の需要は増加していく傾向がある。

2. 研究目的

公園内保育園は2017年度から設置された事例であり既往研究や施設の状況のデータがまったくない、そこで本研究では、首都圏で設置した公園内保育園をすべてとりあげ比較分析し、施設運営状況と施設計画の現状を把握し、今後の公園内保育園に関する基礎的知見を得ることを目的とする。

3. 研究方法

調査概要をTable.1に示す。まずは資料収集調査を行い施設概要、園児構成、スタッフ構成などを整理し、特徴的な空間構成をもつ「にじの森保育園（荒川区）」と「茶々そしがやこうえん保育園（世田谷区）」の施設に訪問見学をし、施設長やスタッフにヒアリング調査を行った。

調査方法	対象者	施設数	日程	調査項目
資料収集調査	-	4園	9/1~9/15	施設概要、立地、園児数、スタッフ数、開園時間など
訪問見学・ヒアリング調査	施設長 スタッフ	にじの森保育園	9月25日	同上+計画の工夫
		茶々そしがやこうえん保育園	9月25日	

Table.1 Survey summary

4. 研究対象

首都圏にあるすべての公園内保育園を対象とする。

5. 結果

5-1. 資料収集調査

資料収集調査を行った4園をTable.2示す。運営主体は主に社会福祉法人であった。運営については、すべての園で延長保育が行われ、運営時間は12時間を超えていた。また、保育園の園庭は公園であった。

名所	にじの森保育園	茶々そしがやこうえん 保育園	まなびの森保育園 西大井	いずみ反町保育園
所在地	荒川区	世田谷区	品川区	横浜市
運営主体	社会福祉法人	社会福祉法人	株式会社	社会福祉法人
認可・認証	認可	認可	認可	認可
開設年月	2017.4	2017.4	2017.4	2017.4
開園時間	7:15-18:15	7:15-18:15	7:30-18:30	7:30-18:30
延長保育	18:15-19:15	18:15-20:15	18:30-20:30	18:30-20:00
対象年齢	0-5	0-5	0-5	0-5
定員	162	80	100	66
職員数	43	17	-	-
階数	地下1階 地上1階	地上2階	地上2階	地上1階
園庭	汐入公園	祖師谷公園	西大井広場公園	反町公園

Table.2 Facility overview

5-2-1. 訪問見学・ヒアリング調査(にじの森保育園)



Fig. 1 Exterior photo

Fig. 2 Gateball field / playground

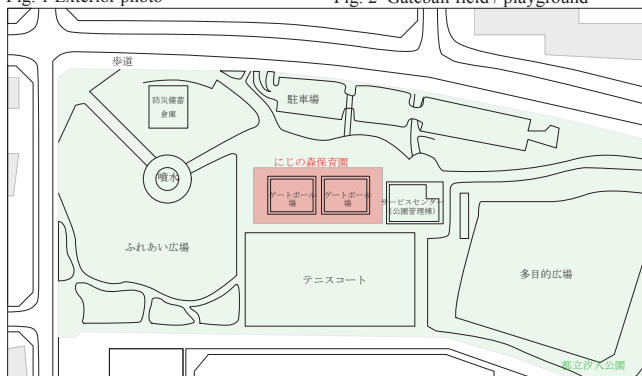


Fig. 3 Schematic

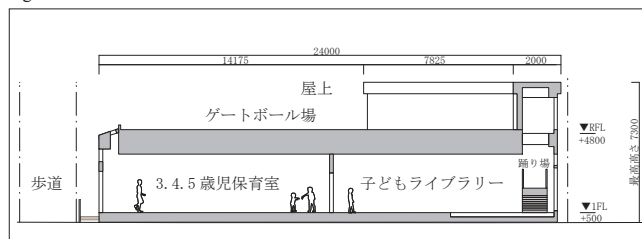


Fig.4 Northern and southern

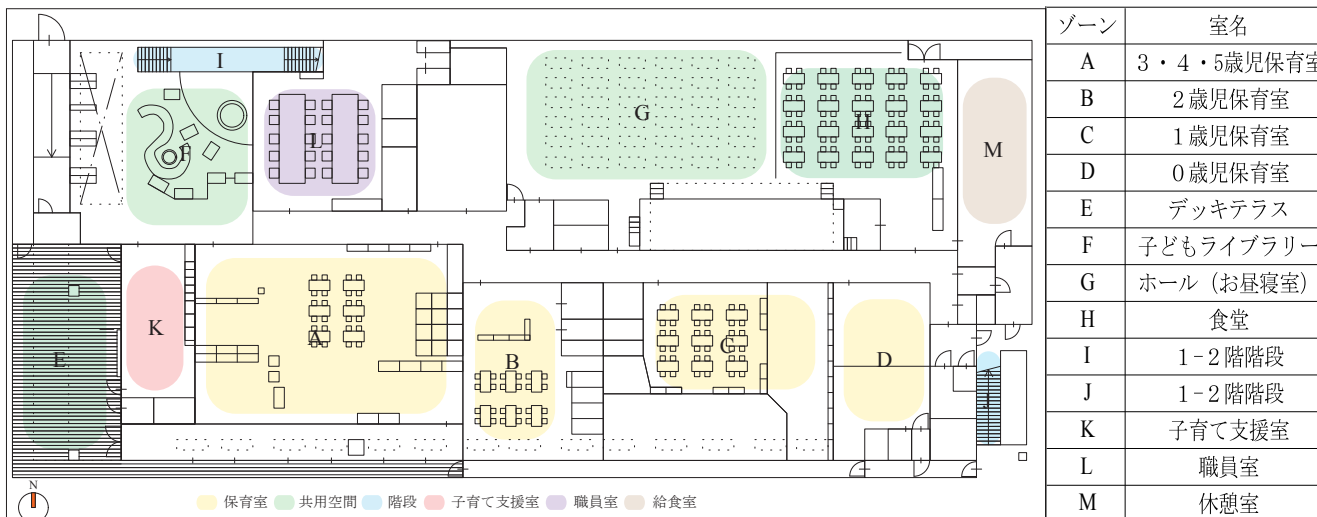


Fig.5 The first floor plan

にじの森保育園の外観写真を Fig. 1 に、配置図を Fig. 3 に示す。社会福祉法人三樹会が所有する荒川区の汐入公園内にある認可保育園である。施設の特徴として、エントランスに併設された子どものライブラリー (Fig. 5 ゾーン F) があり、送迎時に交流の場となる。将来的には、地域に開放することが検討されている。また、施設の屋上部分の園庭をゲートボール (Fig. 4) などの地域の利用に開放している。

これは公園内に作られた保育園ということで、地域への配慮が考えられたこと、そして施設ができあがる以前は元々、ゲートボール場が設けられており、都市計画法 53 条で公園の原状回復が重視され屋上にゲートボールコートが 2 面整備された。屋上への動線は防犯上園児用の Fig. 5 のゾーン I と一般人用の Fig. 5 のゾーン J で分けられている。

5-2-2. 訪問見学・ヒアリング調査 (茶々そしがやこうえん保育園)



Fig.6 Exterior photo



Fig.7 Cafe / rest area

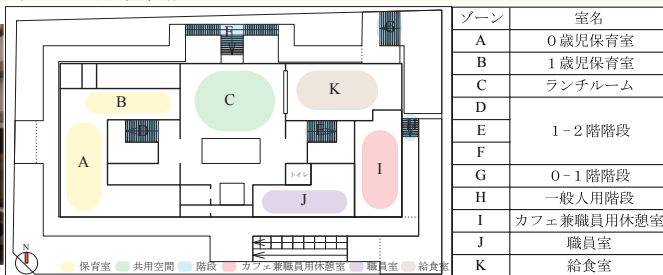


Fig.8 The first floor plan

茶々そしがやこうえん保育園の外観写真を Fig. 6 に 1 階平面図を Fig. 8 に示す。施設は世田谷区の祖師谷公園内に位置する。施設の特徴として、無料で利用できるカフェ (Fig. 7、Fig. 8 ゾーン I) を設けている。園児や保護者だけでなく、公園に訪れた地域住民にも無料で開放している。また、12:00~15:30 の間は職員の休憩所として使用している。一般人がカフェを利用しやすいような動線 (Fig. 8 ゾーン H) を設けていた。

- (2) 事例調査を行った保育園は公園という立地にあるので、地域住民に配慮した諸室が整備されていた。
- (3) 施設ができあがる以前にあったモノをできあがった施設で原状回復していた。
- (4) 防犯上または気軽に一般の人々が訪れやすいような動線を設けていた。

6. まとめ

本研究では、資料収集調査および園の代表者のヒアリングの調査より以下のことが明らかになった。

(1) 公園の中に保育園があることで園庭を公園と位置づけていた。

7. 今後の課題

本研究では、首都圏に現存する公園内保育園を対象とし、事例調査を行った。今後は、その事例の施設計画や園児の滞在所や行動についての利用実態を把握し、今後の公園内保育園の建築計画に関する基礎的知見を得ることを目的とする。また、より多様な利用実態を把握するため、全国で設置された公園内保育園の事例調査を行うことも必要である。

【参考文献】

- 1) 株式会社新建築：「新建築 2017 . 7」、P172-177
- 2) 石川映貴子：「駅型保育園の施設運営・計画に関する研究 - 都内鉄道会社所有保育園を対象として -」 日本建築学会 (北海道) 学術講演会 2013
- 3) 馬場瑛八郎：「91 保育園・幼稚園 3- 子育て支援の中核 -」 株式会社建築資料研究所 2003. 04
- 4) 日本建築学会編：「子供の空間 幼稚園・小学校」 彰国社 1993. 08 第 1 版